



Newsletter No.75 2011.11.24

popokipeace@gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>

11月になりました！神戸の葉っぱは先日よりだんだん赤く染まり始めました。南半球にいるポーポキの友だちはぼちぼち夏ですね。どんな季節でも楽しく過ごすことができるといいですね。

Popoki's Hot News!



新刊速報！！「ポーポキ友情物語 — 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」は12月に出る予定です。

被災地などでのポーポキ友情物語プロジェクトの記録です。
売上の一部は被災地へおくる予定です。
ぜひ回りに方々に広めていただきたいと思います。



今週末に開催！！

**ポーポキと一緒に平和を創り出す集会
～映像で考える平和～**

**11月26日 神戸YMCA 10:00～14:00
(プログラムなどについては、p.9を参照)**



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのさところから届いた平和：

『お日様の匂いのする布団で眠る幸せ。』

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール popokipeace@gmail.com へ！



ポーポキ友情物語専用ページに新しいスライドショー！！

ポーポキ友情物語 in 岩手県大槌町

ポーポキ友情物語 in 宮城

ポーポキ友情物語 in グアム

ポーポキ友情物語プロジェクトの最新作品などを見たりできる

ページがポーポキのURLにできました。ぜひ見てね！

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html>

神戸 YMCA のバザーにポーポキ友情物語

10月23日に神戸YMCAの三宮会館で国際協力バザーが開催されました。今年もポーポキ・ピース・プロジェクトは、YMCAの国際ボランティアリーダー会のみなさんとコラボレーションしました。今年の内容は、ポーポキ友情物語の展示と実践です！休憩場となっていたYMCAのチャペルに約45cm X 5メートルの布を九枚壁に飾り、そして布に描けるようなスペースもつくりました。おかげでたくさんの方々に素敵な絵を描いていただきました。さらに、4時間のプログラムの間、YMCAの国際ボランティアリーダー会のみなさんが、YMCAのタイワークキャンプについての素敵な紙芝居を二回ほどしてくれました。

みなさま、ありがとうございました！



ポーポキ友情物語プロジェクト

あなたも周りの人と布をつくらってみませんか？



詳しくはポーポキにメールへ。Information: popokipeace@gmail.com

次のリンクで最近のプロジェクトを見ることができます。

View the most recent work of the project at:

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html>

Length/長さ: ≤5meters(つないでいく)

We will connect the sections

Width/幅 45cm

* Hem the edges/縁かがり縫いをする

Fabric: cotton broadcloth/

素材: 綿ブロード。

Color: Very light pink, or as you like

色: 薄いピンク、又は好きな色



出来上がった布をポーポキ・ピース・プロジェクト宛(657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1 神戸大学大学院国際協力研究科 ロニー・アレキサンダー方)へお送り下さい

Please send finished sections to: Popoki Peace Project, c/o Ronni Alexander, GSICS, Kobe University, Rokkodai, Nada-Ku, Kobe 657-8501 JAPAN



ポーポキの被災地支援インタビュー その7

スザンカ・ハニバロバ

今回は伊藤理紗さん(リサ)にお話をうかがいました。

聞き手はポーポキの友人のスザンカ・ハニバロバです。

リサは現在神戸大学大学院保健学研究科の修士課程の1年生で、以前神戸大学附属病院で看護師として働いていました。

震災後は、宮城県石巻市鹿妻(かずま)小学校の避難所で救護活動をしていました。宮城県からの要請を受けて兵庫県の医療チームとして、4月12日～16日まで5日間、救護隊(医師2名、看護師2名、薬剤師1名、PT(リハビリ)1名)として派遣されました。では、話をお聞きしましょう。

(スザンカ)被災地に近づいて行ったときにどんなことを考えていましたか？

(リサ)緊張していました。ドキドキしていました。テレビで見ていた光景を実際に自分の目で見ること戸惑いを感じていました。自分にどこまで出来るかな～と不安でした。

(ス)鹿妻小学校に着いて、車から降りて被災地に足を降ろした瞬間に何を感じましたか？

(リ)小学校に行くまでの間に、津波で町が壊滅(かいめつ)した様子を見ながらいろいろ考えていたと思います。でもそうですねー...言葉が出なかった。私には本当に何ができるのか、被災者とどう関わって行けばいいのか、被災者は今どういうことを感じているのか。



(ス)被災地ってなに色でした？

(リ)何色でしょうね...空の色がすごく綺麗でしたけど...周りの景色はグレイ色でしたね。すごく不思議でした。空と海がいつもと同じような色でなにも変わっていないのに町だけがなくて...ですね。すごく違和感を感じていました。

(ス)では被災地で実際にどのような活動をされていたのですか？

(リ)避難所の中の救護所で、避難されている方や周辺の住民の方に色々なケアを行っていました。点滴をしたり、けがの処置をしたり、寝たきりの人の訪問して床ずれのケアをしたりしていました。時間があるときは避難所にいる人たちとお話したり、子どもと遊んだりもしていました。



(ス)避難所にいた方々はどんな様子でしたか？

(リ)見た目だけは普通でした。言い方が少しおかしいかもしれませんが普通にお話したり、笑ったりしていたけども話してみると...津波のこととか、家族のこととかを話すと泣きだしたりして、辛い思いをされていることがよくわかりました。すごく辛い思い出をしたんだけど、あからさまに表現するのではなくて、辛いけど我慢して耐えているのがよくわかった。東北の方はすぐには感情を表に出さないという感じでしたが、毎日声をかけたり話しているうちに徐々に心を開いてくれて、自分の辛い思いを、思い出したくないこといろいろ話してくれました。

(ス)多くの被災地の方とお話して、思い出に残ること何かありますか・・・

(リ)一人のおばあちゃんと話しているときのことを思い出します。「元気ですか、大丈夫ですか」といつも声をかけていたら「大丈夫、大丈夫だ」と言ってくれましたけどそのとき握っている手が震え

ていて、ギューと力強く握っていて、自分の気持ちをコントロールされているのがよくわかりました。私はその手を放したくなくて...

(ス)放したくなくて...？

(リ)大変な気持ちを共有したかったのです。今まで一人で気を張っていたのが伝わってきて、私が何かできる訳でもないけど、そのとき側にいるだけでその大変な気持ちシェアできたらいいな~と思いました。

五日間しかいなかったけど、毎日顔をあわせている内に声をかけてくれたりして、だんだん私のほうも思いやってもらったりして、嬉しかったです。

The image shows a medical relief form from the Japanese Red Cross. It contains various fields for patient information, medical history, and contact details. Handwritten entries include 'H23. 0. 0' for the date of admission, 'H23. 0. 0' for the date of birth, and 'H23. 0. 0' for the date of the interview. Red stamps are visible on the form, including 'I. 初' (First), 'II. 再' (Second), and 'III. 症状' (Symptoms). The form is titled '日本赤十字社 支部第 救護班 MEDICAL RELIEF TEAM OF THE JAPANESE RED CROSS'.

(ス)避難所の中の雰囲気はどうでした？

(リ)日中は大人は家に帰ってがれきの撤去(てっきょ)をしたり、お年寄りは避難所に残って皆でお話したり、体がしんどくて寝えいたりしていましたし、子どももたくさんいたので結構にぎやかになったときもありました。子どもたちが笑顔で走り回ったり、遊んでいるのをみると心が暖かくなりましたね。

私はその生活の中にお邪魔させていただいているという感じでしたね。

(ス)避難所の色・匂い・音...をどのように感じたのですか？

(リ)色は外と違って「生活の色」がありましたね。たとえば、ご飯を食べたり、寝たり、起きたりしている生活の営み(いとなみ)がありましたね。雑音がないから少し静かだけど...だからこそ人が話している声、笑う声もよく聞こえました。匂いはですね、外の臭いもしましたが違っていました。人がいる匂いがしましたね。

(ス)避難所では5日間ほど過ごしたとのことですが、何か辛かったことがありましたか？

(リ)そうですね。すごく忙しかったです。毎日のミーティング終わるのが0時半ぐらいで、朝出発する5時半でしたから、寝る時間が少なくて...ちょっとやっぱり疲れました。でも、自分たちより辛い思いをしている人がたくさん周りにはいるので、辛いとかしんどいとかそのときそんなに思わなかったんです。それに一緒に行った仲間がとてもお互いにサポートしてくれて、支えてくれました。夜になると仙台にいつも帰って、ご飯食べにいたり、話したりして、気持ちを切り替える時間を作ってくれたから五日間ストレスをほとんど感じる事がなく、過ごせました。だからチームのメンバーにす

ごく感謝しています！

(ス)では、逆に行ってきて「よかった！」と思うことがありますか？

(リ)テレビを見て、色々な情報を知っているつもりだったんですけど、実際に行ってみると思っていた以上の悲惨な状態で、行かないとわからないことがたくさんありました。行ってみて、東北の人の気持ちを知ることができて、共有することもできて、とてもよかったと思います。

(ス)ステキなお話ですね。

(リ)あと、帰るときにチームのメンバーと話していたのは家があったり、食べ物があったり周りに家族がいたりとか・・・その一つ一つがすごくありがたいことで、いろんなことを大切にしていきたいと思いました。幸せだとあらためて感じました。



(ス)本当にそうですね。最後に...今の東北にいる方々に何かをメッセージを送っていただけませんか？

(リ)悲しいことがまだまだたくさんあると思うけど、希望を持って前に進み続けてほしいです。近くでも遠くでも支えてくれる人はきっといると思うから諦めないでください。

(ス)リサさん、ありがとうございました！



<http://popoki.cruisejapan.com>
[popokipeace \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:popokipeace@gmail.com)

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 42

今月のポガのテーマは集中力とバランスです！少しでも楽になるといい！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、まずは意識を整えましょう。立って、手を腰に。しっぽを上に。目を閉じて集中…。
3. では、右足を上げましょう。目を閉じたままは危険なので、最初は目をあけてね。
4. つぎに、足を変えましょう。バランスにしっぽを上手に使ってね。
5. できたポーズは、両足を上げるんだ。できるかなあ？

お疲れ様でした。第42回目のポガ・レッスンはこれで終わります。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会 2011. 11. 28(月) 神戸 YMCA 304号室 19:00～

11. 26 「ポーポキと一緒に平和を創り出す集会～映像で考える平和～」神戸 YMCA
10:00-14:00 (詳細については、次ページをご参照ください！)

11. 28(月) 神戸 YMCA 304号室 19:00～

12 月中 新刊 『ポーポキ友情物語 大震災で生れた私たちの
平和の旅』出版 & 記念イベント！

2012. 12. 18 健康サポートセンター イエローハウス 健美館
(けんぴかん) 開会式！ (ポーポキ友情物語展も！)

2012. 2. 10-11 ポーポキ友情物語展示&実践(予定) at 健康サ
ポートセンター イエローハウス 健美館(けんぴかん)

2012. 2. 25-26 中日本区 YMCA グローバルセミナーにポーポキ



ポーポキと一緒に 平和を創り出す集会 ～映像で考える平和～

2002年度から不定期に開催している「平和を創り出す集会」では、事実をできるだけ正確に知り、市民の視点から、平和を創り出すために私たちに何ができるのか、ともに考え語り合い、行動の糸口を探すひとときを持ってきました。

平和ってどんな平和って、どんな形？
映像で「平和」を表現することは可能？
軍事化、核問題など、「平和」ではない状況の映画を観て、
一緒に「平和」を考えてみませんか
ポーポキも参加するんだよ！



今回は、映画&トークセッションを企画しました。好きな時間帯に参加して、好きな作品を観て、お弁当でも食べながら、作品について話し合ってみよう。

時間	作品（予定）	担当	備考
10:00-11:15	挨拶 「テトで ^{つた} 伝えるベトナムの ^{ほこ} 誇り」	神戸YMCA 国際ボランティア会	20分・日本語
11:30-12:15	「ピースマシンの ^{たび} 旅」＜オキナワ ^{へん} 編＞	ポーポキ・ピース・プロジェクト	13分・日本語 （字幕スーパー）
12:30-14:00	Insular Empire ＜沖縄から出ていく 海兵隊の行き先。観光案内に出ないグアム島を見つめよう＞	ポーポキ・ピース・プロジェクト	59分・日英

日 時： 2011年 11月 29日（土） 午前 10時 ～ 午後 2時

場 所： 神戸YMCA 三宮会館

参加費： 無 料 （募金活動にご協力願います）

申 込： 電話、又は、メールで、お申し込みください。

主 催： ポーポキ・ピース・プロジェクト
神戸YWCA、神戸YMCA



お問い合わせ・お申し込み

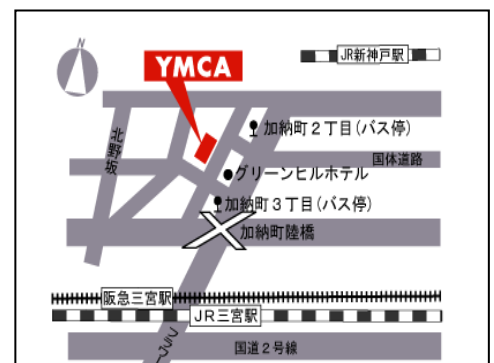
神戸YMCA国際・奉仕センター（担当：永井）

〒655-0001 神戸市中央区加納町2-7-15

TEL (078) 241-7204

e-mail houshi@kobeymca.org

<http://popoki.cruisejapan.com>
[popokipeace \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:popokipeace@gmail.com)

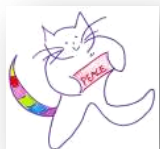


ポーポキ in メディア

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに…」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って…考える絵本」 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくれました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10 面
- 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008. 8. 15
- 中国新聞「核廃絶への視点」2008. 7. 27 (核抑止論について…。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに…。





私にとってのポーポキ



廣瀬 献児

10 月のある日の朝、会社へ向かうバスの中でファリスさんというモロッコの方と一緒にいました。その翌週から 3 週間お休みを取得されていたので、「どこに行くの？」と聞いたらサウジアラビアまでメッカの巡礼に行くのだと教えてくれました。彼はイスラム教徒です。

そこで「メッカってどんなところなの？」と聞くと、「真ん中に黒い石があるのだけど、そこは預言者アブラハムが息子を神様に捧げたところなんだよ」と教えてくれました。

それは僕にとっては衝撃的なことでした。なぜなら僕の名前「献児」は、クリスチャンの両親が旧約聖書に登場するアブラハムの息子、神様に捧げられたイサクを日本語になぞらえてつけてくれたからです。実はコーランで神様に捧げられる息子はイスマイルといって、イサクとは異母兄弟にあたるのですが、どちらも神様への信仰を示す重要な子どもでした。私の名前の由来をファリスさんに告げると、「とってもいい名前だね。」と笑顔で言ってくれました。そして僕も彼の巡礼の平安と無事をお祈りしました。もちろんメッカのルーツを知ったこともとても嬉しかったです。その朝は宗教の違いを越えた平和がありました。

私は「違うこと」は平和にとって大切なことだと思います。一緒が大切のように、違っていられることも大切。色は違うことで互いを引き立たせたり、混ざって新しい色を創り出すことができます。音の違いはリズムと旋律を創れるでしょう。宗教は人々の命と心のことから、とても大切なものです。生まれたとき、死んだとき、宗教的な儀式で人は家族、コミュニティに受け入れられ、送られます。それなのに、宗教の違いが自分勝手な思いで人を殺す銃やナイフを隠すベールや、世界



切り裂く壁の土台にされていることは、とても悲しいことでしょうか？その違いはお互いの敬虔や生き方に学び、お互いに励ましあって平和を作っていくように人々を力づけるものとなりますようにと、切に祈ります

写真: 今年の神戸 YMCA 国際協力バザーで読まれた紙芝居のラストシーン。

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。

